

産業医科大学呼吸器・胸部外科だより

広報誌季刊号 2013 第1号

今月の呼吸器外科の症例報告:

気管支形成、肺動脈形成のdouble plastyを要した肺癌の1切除例

はじめに

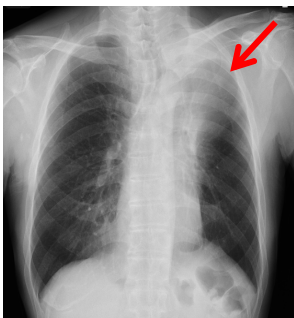
肺癌の標準手術は肺葉切除+縦隔リンパ節郭清であるが、肺機能の温存を狙って中枢型の肺癌の場合は気管支形成や肺動脈形成など再建術を施行することもある。今回、気管支形成及び肺動脈形成の双方を要した肺癌の1切除例を経験した。

症例: 70歳 男性

現病歴: 発熱、咳嗽を主訴に近医を受診したところ左肺炎の診断にて当院を紹介受診。抗生剤加療にて炎症は軽快したが胸部レントゲン上、肺炎像は残存した。精査の気管支鏡にて左上葉入口部に腫瘤性病変を認め、生検にて扁平上皮癌の診断であり、手術加療を行う方針となった。

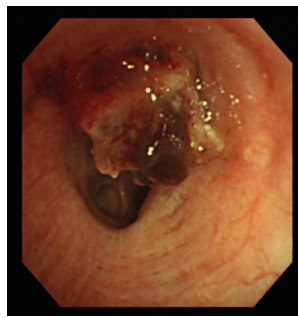
既往歴: 外陰部Paget病(手術) 生活歴: 喫煙40本/日 55年間(BI: 2200)のcurrent smoker

胸部レントゲン



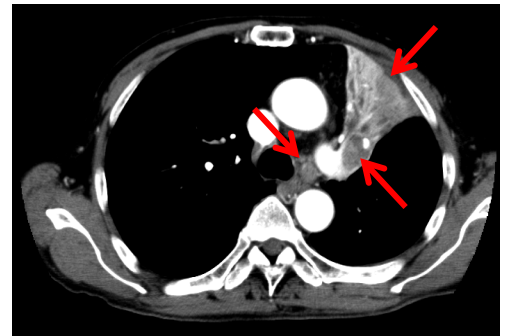
左上肺野の透過性低下を認める。

気管支鏡所見



左上葉枝から主気管支に突出する腫瘤を認める。second carinaから中枢側に3ring伸展しており、末梢は下葉枝はintact。

胸部CT

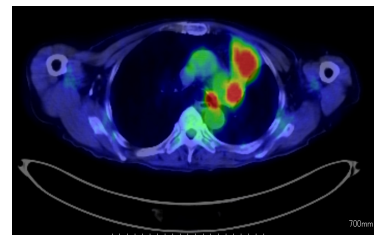


左上葉の無気肺を認め、肺門リンパ節と一塊になった腫瘍及び肺動脈の狭小化を認める。縦隔リンパ節#4Lの腫大も認める。

方針:

閉塞性肺炎及び縦隔リンパ節転移(#4Lのみ)を伴うc-T2N2M0 stage IIIAの扁平上皮癌の診断。N2ではあるがsingle stationであり、閉塞性肺炎も伴うため手術加療を施行する方針とした。

PET/CT



肺門部はSUV 14、縦隔リンパ節はSUV 10の集積を認める。

手術:

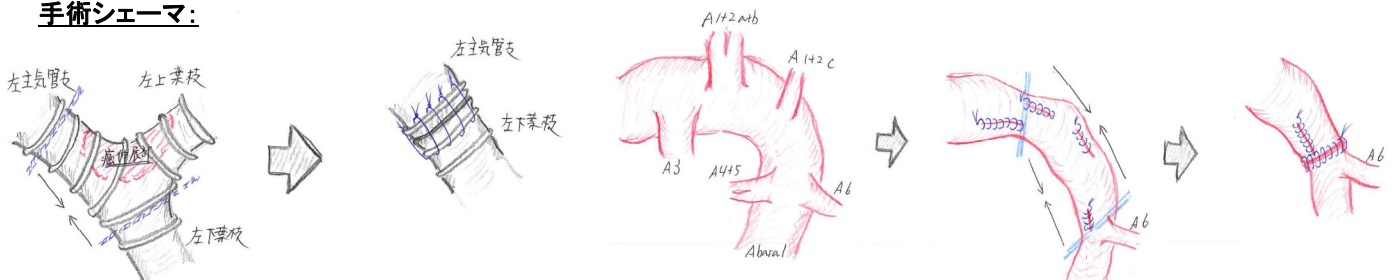
術式: 左上葉切除+気管支形成(管状切除)+肺動脈形成+縦隔リンパ節郭清

気管支形成: 腫瘍の伸展は左上葉枝から左主気管支へと認めていたが、左下葉枝はintactであり、気管支形成を行うことで左下葉を残存。

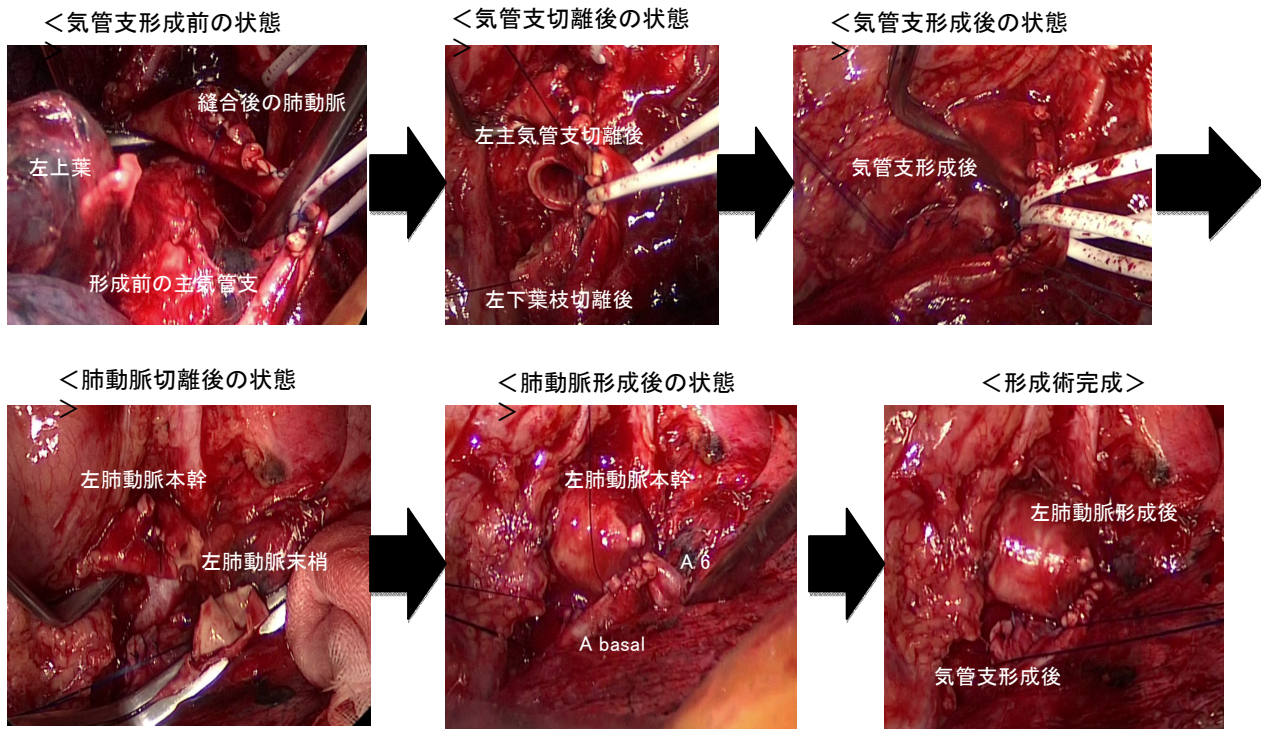
肺動脈形成: 炎症とリンパ節の固着のため肺動脈形成を要した。また、左主気管支の切除が広範囲に及んだため、解剖学的にも肺動脈形成が必要であった。

手術時間: 4時間40分、出血: 550cc

手術シエーマ:



手術写真:



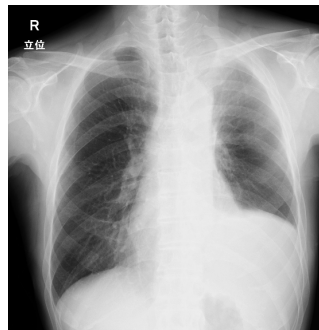
病理組織学的所見:

Large cell neuroendocrine carcinoma(LCNEC)の診断。
 pT2a(閉塞性肺炎), G3, PI0, ly1, v1
 縦隔リンパ節は#4にsingle nodeで転移の所見あり。 P-T2aN2M0 stage IIIA

術後経過:

術後経過は良好であり、POD3にドレーン抜去。
 POD9に軽快自宅退院となった。

術後胸部レントゲン



残存した左下葉の含気は良好。

術後気管支鏡



術後7日目の気管支吻合部所見だが、上皮化も良好。

今後の方針:

N2-stage IIIA症例であったため、
 今後は術後補助化学療法を予定している。

①肺癌手術における気管支形成術の適応

- ・肺葉気管支に癌が局在し、通常の肺葉切除ができない場合
 - ・肺内、縦隔リンパ節が気管支壁に直接浸潤し通常の肺葉切除ができない場合
- * 気管支形成術は肺全摘と同様の根治性を保持しながら肺機能の温存が可能であることが最大の利点となっています。

②肺癌手術における肺動脈形成術の適応

- ・原発巣から肺動脈への直接浸潤ないし癒着を認める場合
- ・転移リンパ節から肺動脈への直接浸潤ないし癒着を認める場合
- ・結核等の炎症性疾患による剥離不可能なリンパ節が存在する場合

参考文献:
 小島史嗣, 宮本好博. 原発性肺癌手術における肺動脈形成の位置づけ. 外科治療 2009; 100: 403-405.
 永安 武ら, 拡大手術 気管・気管支形成術. 日本胸部臨床 2010; 69: 118-126.

③肺動脈形成における切除・再建の方法

- ・楔状切除+直接縫合
- ・窓状切除+パッチ閉鎖
- ・管状切除+端々縫合
- ・人工血管や自己組織を用いた血流再建

・今回の手術の適応については赤字記載に当てはまります。

・気管支・肺動脈の同時形成術(double plasty)は比較的稀であります。肺動脈形成を要する手術症例の70%はdouble plastyを要するといわれています。

・Double plastyの手術成績はやはり根治性においても問題なく、合併症の報告も近年においては少ないとされています。

H25年3月9日～10日にかけて医局旅行で柳川・阿蘇観光に行ってきました！



「さげもん」と呼ばれる吊るし飾りが民家に並び、街全体が雛祭りを飾っており、柳川の街を彩っていました。

たまには思い切って息抜きも必要、という医局員の要望により年度末にやっと実現しました。
柳川→阿蘇へと弾丸観光ツアー。
柳川で鰻を喰らいながら風情を楽しみ、阿蘇で火山口の見学を。

・・・の予定が、幹事の雨女ぶりが見事に発揮され、当日は雷雨となり、阿蘇神社参拝に急遽変更。

阿蘇神社は縁結びで有名であり、独身貴族の恋愛成就を多くの既婚者が祈りました。。。



うなぎは老舗若松屋にてせいろ蒸しを頂きました。

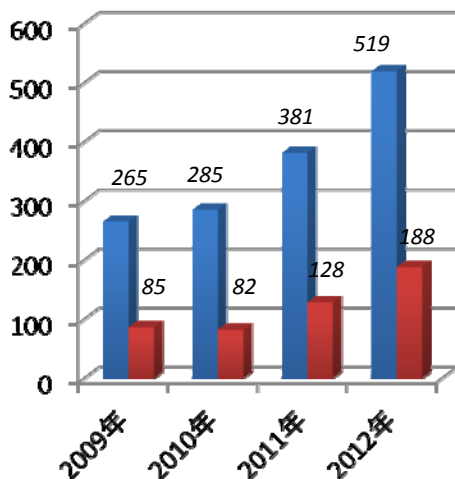
柳川名物川下りの光景。
ゆったりとした時間を過ごしました。



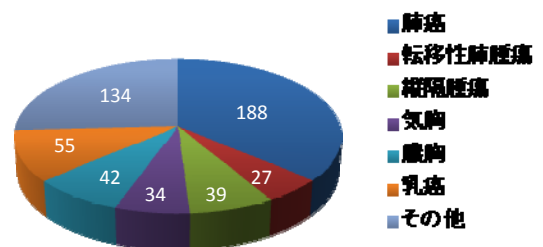
柳川藩主 立花邸 御花の前にて記念撮影



【2012年手術成績】



2012年手術症例数の内訳



昨年は原発性肺癌だけでなく、乳癌手術数など手術総数が大きく増加しました。肺癌だけでなく、感染症や治療困難症例などに呼吸器・胸部外科領域の北九州の最後の砦として頑張っていきたいと思ひます。

皆様の御紹介のお陰で2012年も2011年を大きく上回る手術数を残すことができました。原発性肺癌手術症例数188例と九州トップレベルの成績を残せました。手術数が増え、業務の忙しさも増したのも事実ではありますが、診療の質を落とすことなく『自分や自分の家族が病気になったときに受けたい医療を』引き続き実践していきたいと思ひます。至らぬ点もあると思ひますが、今後とも是非宜しくお願い致します！

当科外来表
2013年4月～

産業医科大学病院



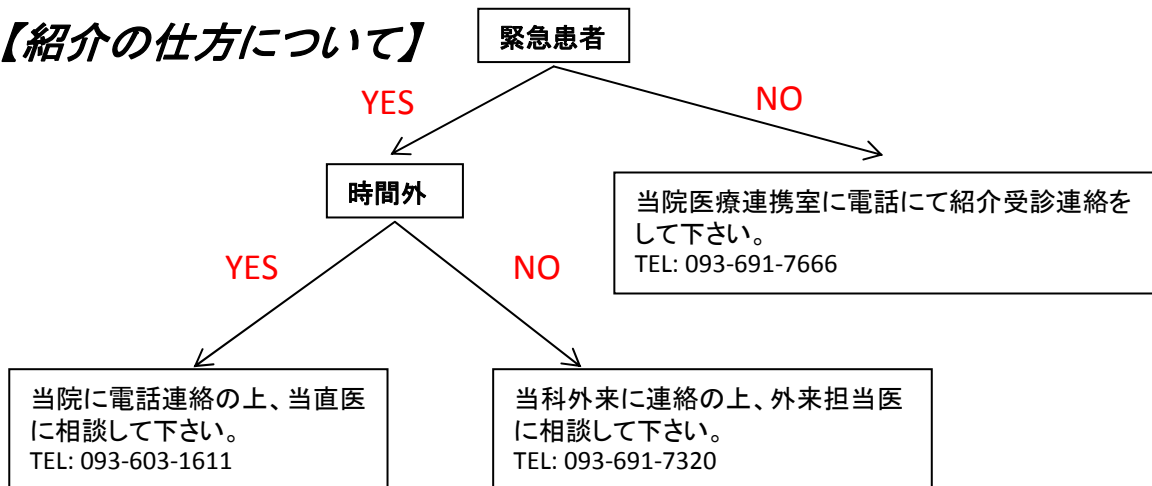
専門分野等	火		木		
	午前	午後	午前	午後	
	紹介、初診、再診	再診(予約)	紹介、初診、再診	再診(予約)	
気管、肺、縦隔	田中文啓 花桐武志 宗知子 浦本秀隆 平井文子 岡壮一 竹中賢	岩浪崇嗣 下川秀彦	田中文啓 花桐武志 宗知子 浦本秀隆 岩浪崇嗣 下川秀彦 岡壮一	宗知子	<ul style="list-style-type: none"> ■直通093-691-7320 ■内線3211 ■診療科長：田中文啓 ■副診療科長：花桐武志 ■外来医長：宗知子 ■病棟医長：宗知子 ■医局長：浦本秀隆
体表、一般	花桐武志 岡壮一	下川秀彦	花桐武志 下川秀彦 岡壮一		
乳腺、胸壁	花桐武志 永田好香	永田好香	花桐武志 下川秀彦 永田好香		

産業医科大学若松病院



専門分野等	火		木		
	午前	午後	午前	午後	
	紹介、初診 再診(予約)	再診(予約)	紹介、初診 再診(予約)	再診(予約)	
気管 肺 縦隔	岩浪崇嗣	近石 泰弘	竹中 賢	平井文子	<ul style="list-style-type: none"> ■代表093-761-0090 ■内線6050 ■外来医長：岩浪崇嗣
乳腺 胸壁	岩浪崇嗣	近石 泰弘	竹中 賢	平井文子	

【紹介の仕方について】



【当科医局員外来派遣病院】

※呼吸器・胸部疾患において、下記病院外来でも当科医局員が外来紹介患者対応をさせていただきます。

産業医科大学若松病院、済生会八幡総合病院、正和並木病院、正和中央病院、新中間病院、宮田病院、牧山中央病院、大平メディカルケア病院、西尾病院、浜崎病院、あさひ松本病院、中井病院、八幡慈恵病院

産業医科大学第2外科 〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
TEL (093) 603-1611 / FAX (093) 692-4004 E-mail : j-2geka@mbox.med.uoeh-u.ac.jp
HP : <http://www.kitakyusyu-gan.jp/>